

## 京丹後市都市拠点等の在り方検討会議 会議録

- 1 会議名 令和4年度第2回京丹後市都市拠点等の在り方検討会議
- 2 開催日時 令和4年10月28日(金) 午後5時00分～午後7時40分
- 3 開催場所 京丹後市役所2階 201～203会議室
- 4 出席者氏名
  - (1) 委員  
大庭哲治、藤井美枝子、寺田義弘、今井みどり、堀井眞、味田佳子、水田朋子  
水嶋式行、田中智子
  - (2) 若者ワークショップ  
進行役 1人(有限責任事業組合まちの人事企画室)  
1班(まちづくり班) 7人(高校生3人、大学生1人、社会人3人)  
2班(施設機能班) 7人(高校生3人、大学生2人、社会人2人)  
3班(公共交通班) 7人(高校生1人、大学生・専門学生3人、社会人3人)
  - (3) 事務局  
市長公室長 川口誠彦  
政策企画課 都市・地域拠点整備推進室 室長 井上浩一、同室 楊川優太  
建設部都市計画・建築住宅課 課長 中川正明、同課 係長 中村正人
- 5 内容  
都市拠点等の在り方に係る若者ワークショップの提案発表及び若者との共同ワークショップ等
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 議題
  - (1) 若者ワークショップからの提案発表
  - (2) 若者との共同ワークショップ
  - (3) その他

### (開会)

委員長 前回の会議では、荒山区の区長様から構想される市の施設に隣接した  
挨拶 公民館・交流機能の整備といった貴重なご意見をいただきました。また、  
この間、若者ワークショップでは、これからの京丹後市を担う若者達により、「都市拠点の目標・基本方針」「都市拠点に求められる機能」「公共交通網(ネットワーク構造)」の三つのテーマに沿ってグループワークやフィールドワーク等が実施されております。

本日は、検討いただいた提案内容を発表していただき、委員の皆様には、若者ワークショップのメンバーとの共同ワークショップにおいて、最

終とりまとめる都市拠点の基本構想の方向性について議論を行っていただきます。

(事務局から資料に基づき説明)

- ・都市拠点構想の検討全体イメージ … 追加資料
- ・若者ワークショップで検討する方向性（テーマ）の提示 … 追加資料

(まちの人事企画室から活動報告)

6月にメンバーを募集し、高校生から大人まで計22人で活動している。また、7月にキックオフイベントを行った後、グループワークやフィールドワーク実施など、今回の提案発表に至るまでの活動報告が行われた。

【議題（1）若者ワークショップからの提案発表】

◎1班 「このエリアの未来のまちづくりについて」… 資料1-1

若者が大学等の進学後、市内に定着していないため、若者がどうすれば住みたいかについて考えられた。提案のコンセプトは、今あるものを大切にし、我が家のように感じられるまちにとの思いが込められた「My Home Tango」とし、高速道路が延伸し市内外の人の動きの拠点となることにも着目された。

地域独自の資源（自然の豊かさや挨拶の習慣等）を活かし、人々の繋がりやコミュニティをつくるのが大切であり、自然と共生ができる今の京丹後市の魅力が残るまちにしてほしいとの提案がなされた。

◎2班 「こんな施設・場所の機能があったらいいなについて」… 資料1-2

「内（地元）と外（観光客や関係人口）両面で魅力的な施設・機能」をコンセプトに、多様な用途が可能な施設及びスポーツを通して人が集まる施設、それら周辺の歩けるエリアや地域資源を活かす等について提案がされた。また、空き家を活用したイベントの実施や養老複合施設、異国の雰囲気を感じられる観光拠点等の意見があった。

◎3班 「このエリアと他の地域との接続を考えた公共交通網について」… 資料1-3

フィールドワークでは、実際に市内の各駅を巡り駅構内や周辺の調査を行い、各町と駅間の移動手段を検討された。また、新駅設置の検討の結果、鉄道駅としての「新駅」ではなく、m o b i やシェアサイクル、電動キックボード等の様々なモビリティが集まる

新しい拠点となる「シン・エキ」の提案がなされた。また、将来を想定した自動運転車両の運行等についても意見があった。

(事務局から資料に基づき説明)

- ・中学生ワークショップの開催結果 … 資料2
- ・周辺市町の市民利用施設 … 資料3

### 【議題（２）若者との共同ワークショップ】

◎若者との共同ワークショップ（前半：18時20分～18時35分）

- ・発表を行った3つのグループに検討会議委員が分かれて入り、提案内容に対するフィードバック及び意見交換等を実施

◎若者との共同ワークショップ（後半：18時40分～19時00分）

- ・若者と検討会議委員の混合グループを3グループ編成し、統合案の方向性についての共同ワークショップを実施
- ・まとめ  
多種多様な人の繋がり、繋がりや交流を形成するコミュニティの場づくり、都会化し過ぎずに自然や京丹後らしさを残した魅力あるまちづくりが大切ということが各班ともの共通認識であった。また、鉄道としての新駅ではなく、多様なモビリティ機能をもった「シン・エキ」の提案について、検討会議委員から高評価であった。

### 【議題（３）その他】

(共同ワークショップにおける質疑応答及び意見)

委員 若者からの提案内容や共同ワークショップにおけるフィードバック等の意見は今後どのように扱われるのか。

事務局 議論いただいた意見等は、今後、若者ワークショップで三つのテーマを一つにまとめた統合案を作成する中で反映され、第3回の検討会議に提案される予定となります。また、次回の検討会議で事務局から提示する予定の基本構想案にも、本日の提案内容並びに意見等は反映する予定となります

委員 中間報告でとりまとめた子育て支援施設や図書館等は今後どのように

扱われるのか。

事務局 昨年度に中間報告でとりまとめた内容は基本構想の1章として編成を予定しています。今年度は、昨年度と異なり都市拠点全体の中でどのような施設・機能が必要となるかを議論いただいております、昨年度の中間報告は活かしつつ、若者からの提案を統合したものを基本構想としてとりまとめていくことを考えています。

委員長 昨年度の議論の中で若者からの視点が足りないという意見があったため、今年度は若者ワークショップを進めてまいりました。これまでの我々の議論の中で足りない視点について若者から意見をいただき、基本構想の中に反映していくことを予定しています。

委員 今回の中学生や高校生からの意見について、この検討会議だけで留めるのはもったいないため、京丹後市の他の審議会と共有していただければ良いと思います。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。今日頂いたご意見はこの検討会議に限らず情報共有させていただきたいと考えております。

委員長 高校生や中学生に将来の地元のことを考えてもらうきっかけをつくれたことは、非常に良いことと考えます。このような機会を今後も引き続き行っていただきたいと思います。それが地域を考えるきっかけとなり、若者の愛着に繋がるのではないかと考えます。

(閉会)

副委員長 このようなワークショップは初めての体験で、非常に新鮮な視点で様々な議論が交わされました。本日のワークショップで出た若者や委員の意見をリンクしながら進め、素晴らしい統合案の提案がなされることを期待しています。